

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2020年3月2日

事業者名 有限会社ゆいゆい

		チェック項目	はい	どちらか くらい	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	4	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	7	5	1	基準を満たした職員の配置をしており、講習や研修等で専門性を獲得している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	4	0	(ククル)エレベーター設置。階段の昇降時は、人数を制限し、指導員が支えている。	安全に十分配慮しながら支援を行ってきたい。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	4	2	実績報告・年度計画・職員配置等を定める会議を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	3	1		今回の結果も職員全体で共有し、課題を共有しながら支援を行ってきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	2	1	前回の結果は通信で公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4	4	(実施していない。)	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	1	0	年度初めに研修計画を職員会議で作成している。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	2	0	アセスメント表の作成、6か月ごとに保護者との面談、モニタリング・支援計画の作成・会議を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	4	0	K式発達検査の準用。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12	1	0	各事業所に会議を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	3	0	各週ごとに行事計画を作成し、保護者には週間予定表を配布している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10	3	0	各事業所に会議を行い、行事計画を作成。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	0	0	開所前に各事業所で、打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	1	1	終了後、もしくは翌日振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	2	1	日誌・個別記録の記入、職員向けの連絡ノートの記入を行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12	1	0	6か月ごとに会議を行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	10	3	0	行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	2	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	3	0	体調等の確認をし、必要に応じて電話連絡を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	9	1	(受け入れなし。)	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	3	0	新規利用者時、保育所等の訪問を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	6	1	サービス担当者会議にて報告と資料提供を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	6	0	研修は受講している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	6	2		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	5	0	自立支援協議会の放課後等部会には毎回参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	2	0	連絡ノートの使用、送迎時や面談にて聞き取り等している。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	6	6	1	保護者との面談時、必要なことは伝えている。		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	1	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	2	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	3	1	クリスマス会にて保護者の話し合いの場を設けている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12	1	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	0	0	すまいる通信、連絡ノート、週間予定表や長期休みの行事予定表の配布など。	
	35	個人情報に十分注意している	10	3	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0	1	子どもとの行事会議や振り返りを行っている。連絡ノートの使用。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4	4	地域に向けた行事等は行っていないが、地域のイベント等には参加している。	今後も地域のイベント等には参加してきたい。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	4	0		周知を徹底してきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0	0	避難訓練を定期的に行い、救命救急の講習もっている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	4	1	該当なし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	5	1	保護者からの聞き取り、医師の指示書ももらうようになっている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	1	0	夏休み前、年度切り替え時に会議を行っている。	